

コード	205011001
記入日:	H22.6.11

課コード	106
課名	総務課
課長名	堀江英生
担当者	前田祥和

## 事務事業途中評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	ヘリポート施設管理事業
----------	-------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け			
政策コード	2	政策名称	安全、便利、快適な生活環境づくり	款コード	9		
施策コード	205	施策名称	安全を実現できる体制づくり	項コード	1		
基本事業コード	20501	基本事業名称	防災対策の充実	目コード	4		
事務事業コード	2050110	事務事業名称	防災施設管理事業費	細目コード	503		
関連計画				法令・条例規則等			

**計画(PLAN)** ※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標						
(対象1) 新上五島町ヘリポート(有川・上五島)		(対象指標1) 2力所						
(対象2)		(対象指標2)						
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)						
(全体)		(評価年度実績)		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****		・保守点検を6回(有川3回、上五島3回)行った。 ・事業内訳 保守点検料、修繕料、光熱水費		① ***** 点検回数	***** 6回	***** 100%	点検回数6回÷点検予定回数6回	***** 平成21年度
				(達成率分析)	計画通り保守点検を実施した。			
				② ***** 修繕回数	***** 1回	***** 100%	修繕回数1回÷修繕予定回数1回	***** 平成21年度
				(達成率分析)	保守点検で確認された照明灯の修繕必要箇所があったため。			
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)						
				(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
ヘリコプターが安全に着陸できる場所を確保し、災害発生時のヘリコプターの使用や急患搬送活動等を円滑に行う。				① ***** 利用可能日数	***** 365日	***** 100%	利用可能日数365日÷年間日数365日	***** 平成21年度
				(達成率分析)	保守点検等を適切に行い、年間を通して利用できた。			
				② *****	*****	*****	*****	*****
				(達成率分析)				

**実施(DO)** ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成20年度以前	平成21年度		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① 回	30	30	24	6	6					
	② 回		1			1					
成果指標	① 日	365	365	365	365	365					
	②										
総事業費C(A+B)	千円	4,957	6,290	4,049	908	2,241					
直接事業費A	千円	1,457	2,790	1,249	208	1,541					
人件費B	千円	3,500	3,500	2,800	700	700					
内訳	従事職員数	人	0.5	0.4	0.1	0.1					
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
	一般財源	千円	4,957	6,290	4,049	908	2,241				

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	住民の生命に関わる急患搬送等に使用する施設のため、町が行うべきである。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	●ある ●ない	理由	住民の財産及び生命を守ることは行政の仕事であり不変的なものである。
	事業の対象・目的は適切ですか。	●適切 ●不適切	理由	ヘリポート施設の維持管理のためであり適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	●いる ●いない	理由	ヘリポートを安全に利用できている。
	成果を向上させる余地はありますか。	●ある ●ない	理由	急患搬送には、昼間は県のドクターヘリ、夜間は自衛隊ヘリが対応しており、十分である。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	●ある ●ない	理由	急患搬送活動等において、ヘリコプターが安全に着陸できる場所を確保できない。
	類似事業との整理統合はできませんか。	●できる ●できない	理由	類似事業がない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	維持管理を行う上で、これ以上の経費削減はできない。
	人件費を削減することはできませんか。	●できる ●できない	理由	最小の人員で行っており削減はできない。
	受益者負担は適正ですか。	●はい ●いいえ	理由	受益者負担はなし。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		有効性	救急患者搬送時には不可欠な施設である。
		効率性	保守点検により、不良箇所の報告があるので、適切である。
		課題に向けた改善策	現在の施設としては十分機能を果たしているため、保守点検による維持管理を継続していく。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	緊急・救急時の施設であるため、今後も維持・管理は適切に行うこと。
		効率性	2施設とも照明器具等の補修を実施したが、今後も保守管理を徹底するとともに経費の節減に努めること。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続				類似事業と整理統合
				事業内容を見直して事業を継続				事業の休止
				事業費を見直して事業を継続				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。